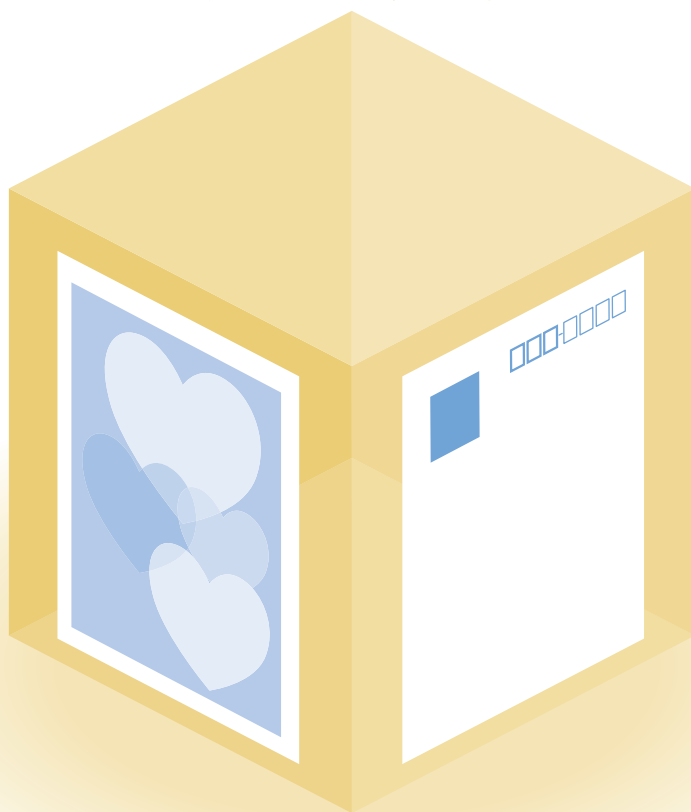
JZ

PCP-45
プリン写ル
取扱説明書
応用編
保証書付

はじめにお読みください
文字の入力
住所録の作成と管理
宛名面を印刷する
文面の作成と印刷
デジタル写真の印刷
データを管理する
その他の設定
こんなときは
資料集

本書では、プリン写ルの各機能についてくわしく説明しています。

●操作を始める前に、別冊の「入門編」をご覧ください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければいけないこと」を意味しています。（左の例はプラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプターをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

警告

ACアダプターについて

- 濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。
破裂による火災・けがの原因となります。

インクおよびプリントカートリッジについて

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。
  目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
  万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。
  インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。

注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない(必ずACアダプターを持って抜く)

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で掃除する
- ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる

本機や外部メモリーに記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

コネクター部への接続

デジタルカメラ接続用コネクターには、指定以外の物を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

• 権利者が存在する画像などは、個人として利用するほかは、著作権法上、その権利者に無断で使用できません。
• 紙幣、有価証券などの中には、その複写物を所有するだけでも罰せられるものもあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

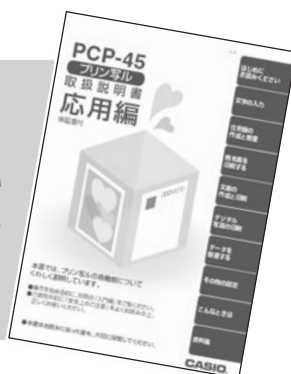
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

こんなときは、どの説明書を読む？

- 使い始める前に準備しておくことを知りたい
- 宛名を登録して印刷したい
- はがきの文面を作って、印刷したい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい

取扱説明書 入門編

本機の使いかたをイラストでわかりやすく説明しています。
すぐに写真やはがきの印刷をしてみたいというときに、お読みください。

- 文字の入力のしかたを知りたい
- 宛名面の作りかたについて知りたい
- 文面の作りかたについて、もっと知りたい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい
- 機械の調子がおかしい?

取扱説明書 応用編(本書)

本機の機能をフル活用するための説明が載っています。
機能別に説明しているので、目次や索引で使いたい機能がすばやく探せます。

- どんなイラストやデザインがあるか知りたい

デザインカタログ

本機に内蔵されているはがきのデザインやイラスト・見出しが紹介されています。
「デザインカタログを見ながら選びましょう」と書いてあるときは、このカタログを見ながら選んでください。

目　次

安全上のご注意 ...... 表紙の裏
こんなときは、どの説明書を読む? 4
やりたいこと目次 10

第1章　はじめにお読みください

使用上のご注意 14
各部の名称 15
　持ち運びのときは 16
　キーボードを開く 16
電源を入れる 17
　ACアダプターを接続する 17
　電源を入れる／切る 19
プリントカートリッジのセットと交換のしかた 20
　プリントカートリッジをセットする 20
　プリントカートリッジを交換する 21
用紙のセットのしかた 22
　使用できる用紙 22
　用紙をセットする 23
印刷するときの注意事項 26
画面の見かた 28
キーボードと主なキーの働き 30
操作の進めかた 32
印刷できる写真データについて 33
　カシオデジタルカメラのPictBridge対応機種 33
　扱える写真のデータ 33

第2章　文字の入力

文字入力の前に知っておいていただきたいこと 36
　文字を入れる画面は… 36
　文字キーの使いかた 36
　入力する文字の種類の切り替えかた 37
ひらがな・カタカナを入れる 38
　ひらがなを入れる 38
　カタカナを入れる 39
　「ぱ」や「ゃ」などを入れる 39
漢字を入れる 40
　漢字を入れる 40
　同じ読みのある漢字（同音異義語）を選ぶ 41
目的の漢字に変換されないとき①（単漢字変換） 43
目的の漢字に変換されないとき②（漢字辞書） 44
　読みから呼び出す 44
　総画数から呼び出す 45
　部首から呼び出す 46
　漢字の一覧表から入力したい文字を見つける（JIS区点コード） 47

アルファベットを入れる 48
アルファベットの大文字を入れる 48
アルファベットの小文字を入れる 48
記号や入力しにくい文字（ゑ、ヴなど）を入れる 49
キーに印刷されている記号を入れる 49
キーに印刷されていない記号や入力しにくい文字（ゑ、ヴなど）を入れる 50
文字を間違えたときは 51
間違えた文字を直す 51
間違えた文字を消す 51
文字の抜けているところに文字を追加する 52
自分で文字を作る（外字） 53
はじめから自分で作る（新規作成） 53
本機にある文字を利用して作る（参照作成） 55
自分で作った文字を使う 55
自分で作った文字を修正する 56
自分で作った文字を削除する 56
文字を修飾する 57
文字の書体を変える（フォント） 57
文字の色を変える（文字色） 58
文字の形を変える（文字体） 59
文字を大きくして確認する（拡大表示） 60

第3章　住所録の作成と管理(宛名印刷前の準備)

宛名を登録する 62
宛名の登録内容を確認する 66
50音順に確認する 66
特定の条件に合った人だけ確認する（検索） 67
宛名を修正する 69
宛名を複写する 70
宛名を削除する 71
宛名を分類するためのマークを付ける 72
マークを変更する 72
1件ずつ変更する 72
マーク別にまとめて変更する 73
宛名登録のファイル名を変更する 74
登録している宛名の件数を確認する 75
宛名面に印刷する文字の書体（フォント）を変更する 76
差出人を登録する 77
入力フォーマットと印刷例 77
差出人の入力フォーマットを切り換える 80
差出人の登録内容を確認する 81
差出人を複写する 82
差出人を修正する 83
差出人を削除する 84
郵便番号辞書について 85

第4章　宛名面を印刷する

印刷　　　での流れ 88
差出人の郵便番号の印刷位置を決める 89
印刷前に画面で印刷結果を確認する(印刷確認) 90
宛名の印刷確認に差出人も一緒に表示するには 90
すべての宛名を印刷する 91
1人ずつ指定して印刷する 93
マークを指定して印刷する 95
差出人だけを印刷する 96
縦書き印刷のとき、漢数字と算用数字を切り替える 97
郵便番号の印刷位置を調整する 98
宛名の郵便番号位置の調整 98
差出人の郵便番号位置の調整 99
住所の印刷位置を調整する 100
宛名の一覧を印刷する（住所録印刷） 101
印刷設定画面の設定項目（住所録印刷） 102

第5章　文面の作成と印刷

文面の作成方法について 104
あらかじめ登録されているデザインから文面を作る(カンタン作成) 105
作業の流れ(カンタン作成) 105
イラスト入りのデザイン番号を選ぶ 106
写真入りのデザイン番号016～020を選ぶ 107
差出人入りのデザイン番号を選ぶ 108
差出人を変更する 109
文字設定画面の設定項目 109
和暦と西暦を切り換える 110
年月の設定 110
新規作成のときに年月を編集する 110
機能メニューから年月を編集する 111
年月の編集画面の設定項目 111
写真を取り込む 112
文面を印刷する（カンタン作成） 113
印刷設定画面の設定項目 113
オリジナルの文面を作る（組み合わせ作成） 114
作業の流れ（組み合わせ作成） 114
組み合わせ作成のフォーマットの種類 115
縦置きのフォーマットの例 115
横置きのフォーマットの例 115
フォーマットを選ぶ 116
イラストを選ぶ 117
見出しを選ぶ 118
イラスト見出しを選ぶ 118
テキスト見出しを選ぶ 119
テキスト見出しの設定項目 119
文章を入れる 121
テキストの設定項目 121
写真入りのはがきを作成する（組み合わせ作成） 123
差出人を選ぶ（組み合わせ作成） 124
文字設定画面の設定項目 124
選んだ内容を変更する 125
選んだ内容を削除する 125
見出しを削除する 125

テキストを削除する 125
イラストを削除する 125
差出人を削除する 125
文面を印刷する（組み合わせ作成） 126
印刷設定画面の設定項目 126
文面の登録と呼び出し 127
文面を登録する 127
登録した文面を呼び出す 128
登録した文面を削除する 129
ファイル名を変更する 129
差出人について 130
差出人の登録 130
差出人情報をQRコードとして印刷する 131

第6章　デジタル写真の印刷

デジタルカメラで撮影した写真を印刷する 134
印刷の操作 135
印刷設定項目 136
PictBridgeに関する注意事項 136

第7章　データを管理する

データのバックアップを作成する 138
バックアップデータを保存する 138
バックアップデータを呼び出す 139
バックアップデータを削除する 139
よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書:語句) 140
語句を登録する 140
登録した語句を修正する 141
郵便番号と住所を辞書に登録する(ユーザー辞書:郵便番号) 143
郵便番号を辞書に登録する 143

第8章　その他の設定

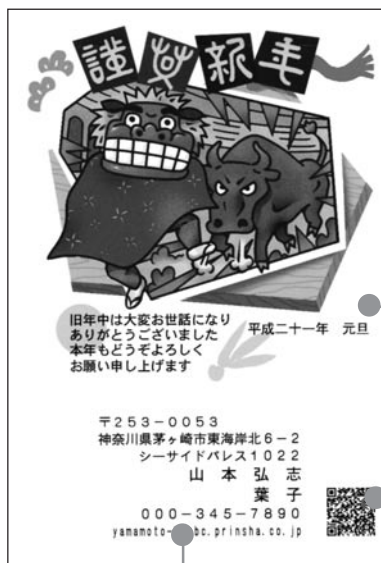
文字の入力方法（入力モード）を切り替える 146
画面の明るさを調節する 147
ブザー音を鳴らさないようにする 148
プリンターのメンテナンスをする 149
プリンターを調整する 149
プリントカートリッジをクリーニングする 149
テスト印刷する 150

第9章　こんなときは

こんな画面が出てきたら 152
「故障かな?」と思ったときは 153
用紙がつまったときは 156
リセット（初期化）するときは 157
お手　れの方法 158
プリンター・プリントカートリッジのクリーニング 158
本体のクリーニング 159
本体の保管方法 160

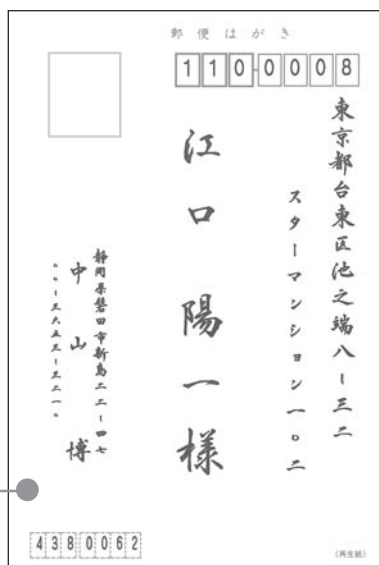
第10章　資料集

記号一覧 162
ローマ字入力対応表 165
内蔵漢字一覧 168
別売品一覧 181
仕様 182
索引 184
保証・アフターサービスについて 186
カシオお客様ご相談窓口 187
カシオテクノ・サービスステーション 187

やりたいこと目次

デザインを選んで文面を作りたい　105ページ

QRコードを印刷したい　131ページ

差出人入りの文面を作りたい　108ページ

写真入りの文面を作りたい　107ページ

宛名面を作りたい　62ページ

・相田太郎様
香織様
〒102-0073 東京都千代田区九段北３６－４３
ベルデ九段６０７
０３－００００－００００
・青山雄一様
広美様
〒141-0031 東京都品川区西五反田８９－４１
０３－００００－００００
・伊藤次郎様
雅美様
〒110-0008 東京都台東区池之端
８－３－２
０３－００００－００００
・江口陽一様
知美様
〒110-0008 東京都台東区池之端８－３２
スターマンション１０２
０３－００００－００００
・江藤一樹様
優花様
〒134-003 東京都江戸川区○町４－５－６
０３－００００－００００
・加藤弘人様
由美様
〒192-8556 東京都八王子市◇町５－６－２
０３－００００－００００
・坂木次郎様
〒150-0000 東京都渋谷区○○町１－２－３
コーポ樫尾１１２
０３－００００－００００

住所録の一覧を印刷したい　101ページ

イラストや見出しなどを組み合わせて
文面を作りたい　114ページ

写真を印刷したい　134ページ

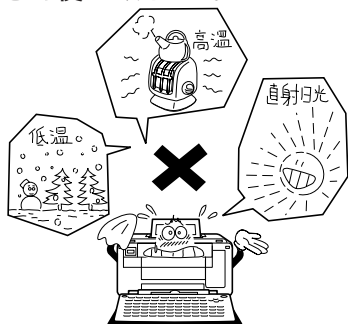
※「取扱説明書 応用編」の印字例や画面の内容などは、実際と多少異なることがあります。

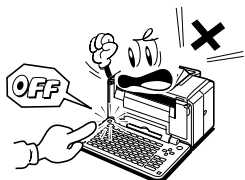
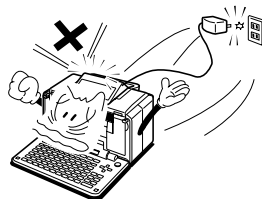
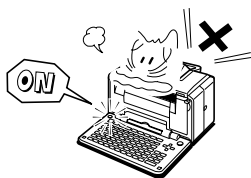
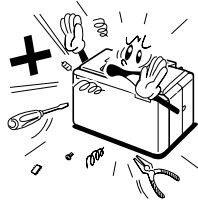
第 1 章

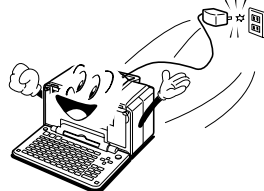
はじめに
お読みください

使用上のご注意

本機を末永くご愛用いただくために、以下の点にご注意ください。

使用温度範囲は5℃〜40℃(使用最適温度範囲:15℃〜35℃)です。気温の低い場所から暖かい室内に持ち込むと動作部に露がつき正常に動作しないことがあります。このときは1時間以上放置してからお使いください。

長時間お使いになるときは、健康のため1時間ごとに10〜15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

印刷中、登録・削除などの編集作業中、プリンタ調整中などに電源を切らないでください。

テレビなどとは別の電源コンセントを使用し、テレビなどから遠ざけて使用してください。

電源を入れたまま長時間放置しないでください。表示輝度の劣化を生じることがあります。

分解しないでください。

本機の上にものをのせないでください。また落としたり強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

電源を切ったあと、表示画面が完全に消えるまでACアダプターをコンセントから抜かないでください。

●印刷中は絶対に用紙挿入口のゴムローラー部および用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。
指がローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
●本機を使用中、少し熱くなることがありますが、故障ではありません。

各部の名称

表示画面

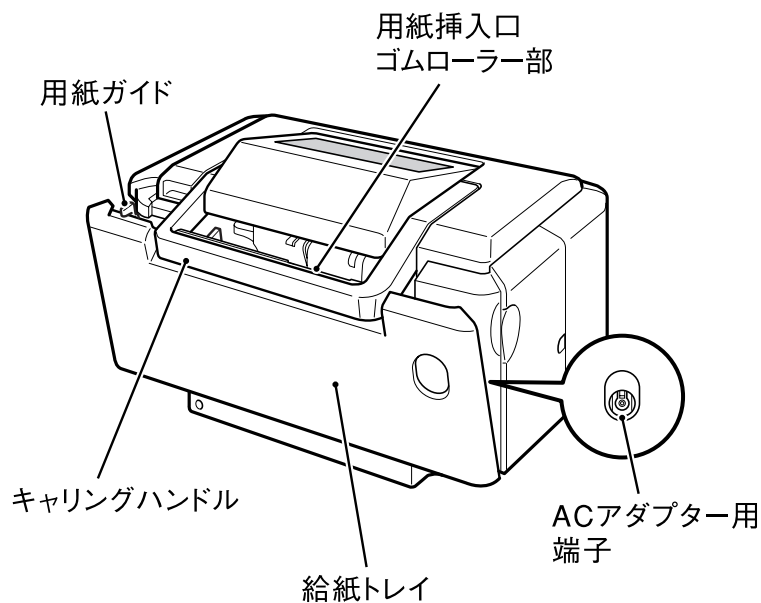
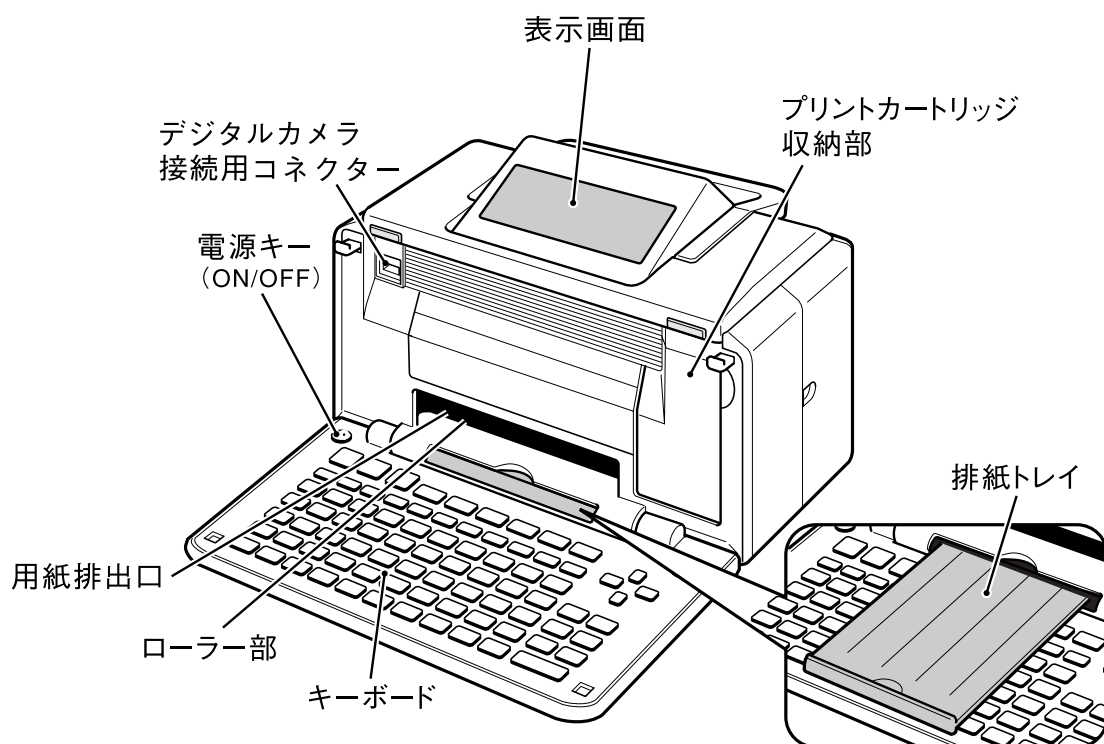
デジタルカメラ
接続用コネクター

プリントカートリッジ
収納部

電源キー
（ON/OFF）

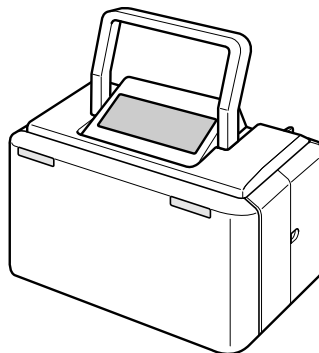
排紙トレイ

用紙排出口

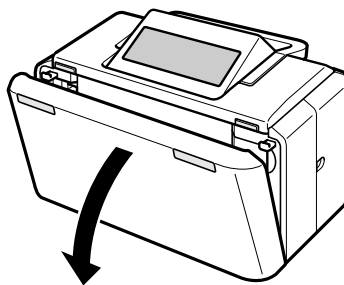
ローラー部

キーボード

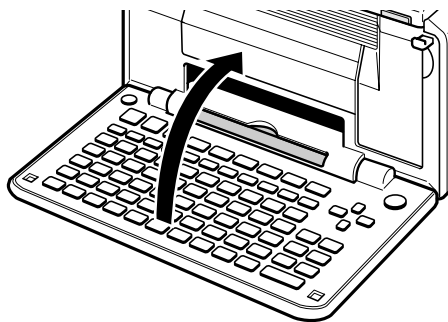
持ち運びのときは

本機を持ち運ぶときは、図のようにキャリングハンドルを引き上げてお使いください。

「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

キーボードを開く

文字を入力するときなどは、本体上部を押さえながら、キーボードを開いてください。

「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

● キーボードを閉じるときは

キーボードを「カチッ」と音がするまで押し上げてください。

電源を入れる

ご購入後、はじめて電源を入れるときは、リセット（初期化）、プリンターの調整、文字を入力する方法の設定などが必要です。別冊の取扱説明書 入門編の「準備をしましょう」を参照して、必ず行ってください。

ACアダプターを接続する

- ACアダプターは必ずAC100Vのコンセント（通常の家庭用コンセント）に差し込んでください。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。

⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものをのせたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

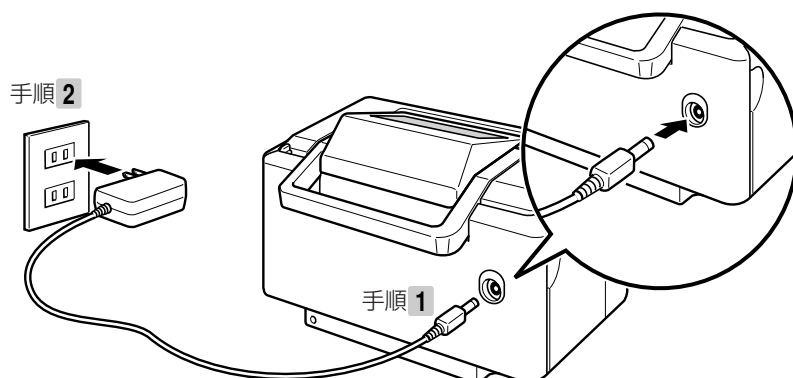
- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない(必ずACアダプターを持って抜く)

ACアダプターについて

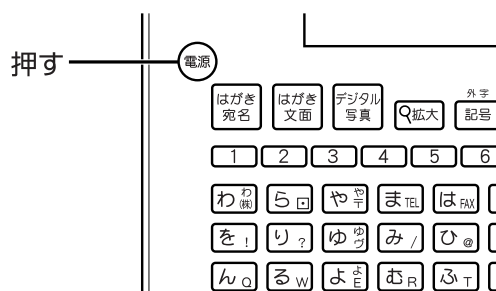
ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で掃除する
- ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない

1 付属のACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子に差し込みます。

2 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントに差し込みます。

電源を入れる／切る

● 電源を入れるときは

電源が切れている状態で（電源）を押してください。

重要

- 「電源を入れる操作」や「電源を切る操作」は、完了するまでに10～20秒かかることがあります。完了するまで、そのまましばらくお待ちください。
- 本機をご使用になるときは、プリントカートリッジがセットされていることを確認してください。例えば、「住所録の作成」だけを行いたいときも、プリントカートリッジをセットした状態で行ってください。

● 電源を切るときは

1 （電源）を押して、電源を切ります。

2 表示画面が完全に消えたことを確認します。

3 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントから抜きます。

4 ACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子から抜きます。

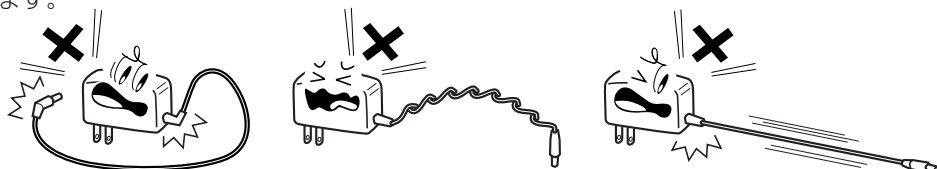
重要

- 必ず表示画面が完全に消えてからACアダプターを家庭用のコンセントから抜いてください。表示画面が消える前にACアダプターを抜くと登録したデータが消えることがあります。
- 電源を切るときは、必ず、プリントカートリッジカバーがきちんと閉まっていることを確認してください。プリントカートリッジカバーが正しく閉められていないと、インクが乾燥してプリントカートリッジが使用できなくなったり、プリンターの故障の原因になることがあります。

オートパワーオフ

約1時間、キー操作を行わないと自動的に電源が切れます。

AC アダプター使用上のご注意

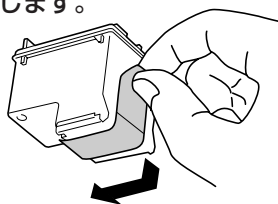
ACアダプターのコードの先端や根元部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
また、コードの先端や根元部分が折り曲げられた状態での保管は避けてください。コードが断線して故障の原因となります。

プリントカートリッジのセットと交換のしかた

印刷するときには、プリントカートリッジを使います。

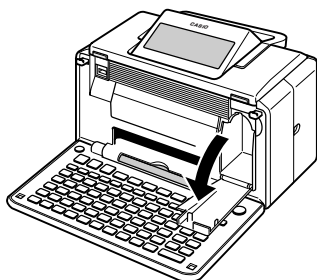
重要 必ず指定のプリントカートリッジをお使いください。(▶▶ 181ページ)

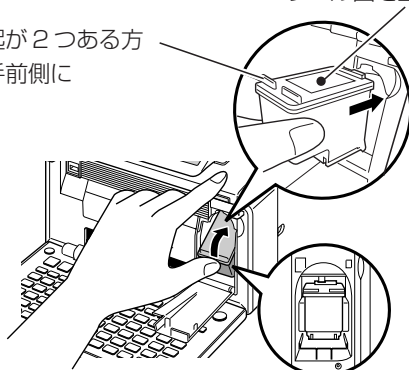
プリントカートリッジをセットする

1 **ACアダプターを接続して、電源を入れます(▶▶ 17ページ)。**

2 **プリントカートリッジについているピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。**

重要
- 必ず透明のプラスチックテープだけをはがしてください。金色の金属フィルムは絶対にはがさないでください。プリントカートリッジが使用できなくなります。
- 一度はがした透明のプラスチックテープは、絶対に貼り直さないでください。ノズル内のインクが混ざり合い、使用できなくなることがあります。

3 **プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。**

プリンターが動きます。

重要 「稼動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

4 **プリントカートリッジを「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。**

- 正しくセットしないとプリントカートリッジの故障の原因となります。

5 **プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。**

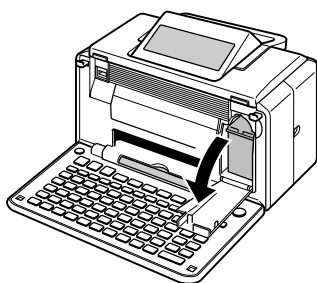
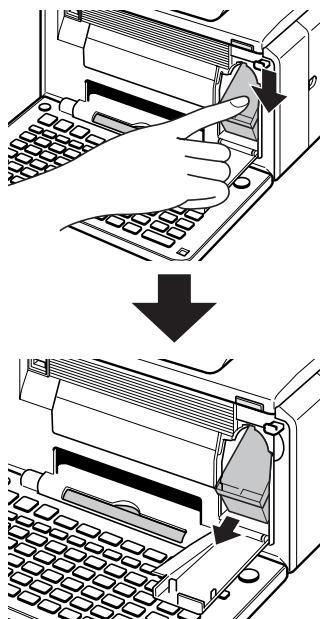
重要 自動的に「プリンターの調整」を行います。プリンター調整用の用紙をセットして画面の指示にしたがって操作してください。
「用紙のセットのしかた」▶▶ 22ページ
「プリンターの調整」▶▶ 149ページ

印刷できる枚数（目安）

本機に付属のプリントカートリッジで印刷できる枚数は下記のとおりです。
はがき印刷：約200枚　　写真印刷：約100枚
※印刷する内容によって、印刷できる枚数は異なります。
※印刷条件の詳細(▶▶ 181ページ)。

プリントカートリッジを交換する

1 ACアダプターを接続して、電源を入れます
(▶▶ 17ページ)。

2 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。

3 プリントカートリッジを下に押しながら手前に引きます。

4 新しいプリントカートリッジをセットします。

プリントカートリッジ 使用上のご注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。 万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。 インクの成分には、硝酸塩が含まれております。 万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。 なお、プリントカートリッジの改造やインクの詰め替えなどによって生じたプリンターおよびプリントカートリッジのトラブルについては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 振動や衝撃を与えないでください。また、金属部分には手を触れないでください。
- プリンターに装着するまでは包装を開封せずに、直射日光を避け、常温で保管してください。

プリントカートリッジに印刷されている数字の見方

- プリントカートリッジに印刷されている数字は、使用期限です(右のイラストの「2009/12/18」は「2009年12月18日」を表しています)。使用期限までに使い切ってください。
  なお、良質な印刷品質を得るために、使用開始後6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。

用紙のセットのしかた

印刷する前に用紙をセットします。

使用できる用紙

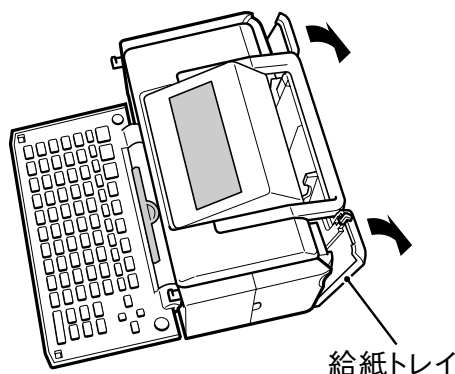
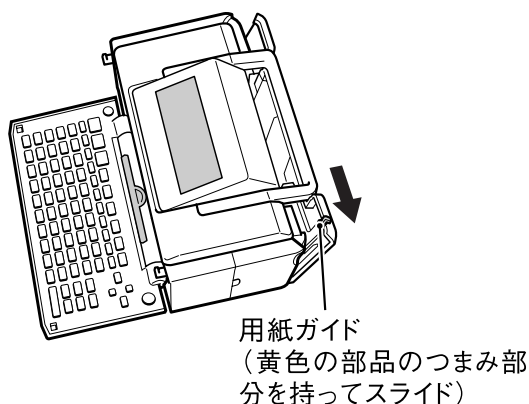
用紙	サイズ	厚さ	用紙の種類
はがき	(縦)148mm×(横)100mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm～0.26mmの範囲のもの	●普通官製はがき ●インクジェット用はがき ●フォト光沢はがき
A6	(縦)148mm×(横)105mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm～0.26mmの範囲のもの	●インクジェット用紙 ●フォト光沢紙 ●普通紙
L判	(縦)127mm×(横)89mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm～0.26mmの範囲のもの	●インクジェット用紙 ●フォト光沢紙 ●普通紙

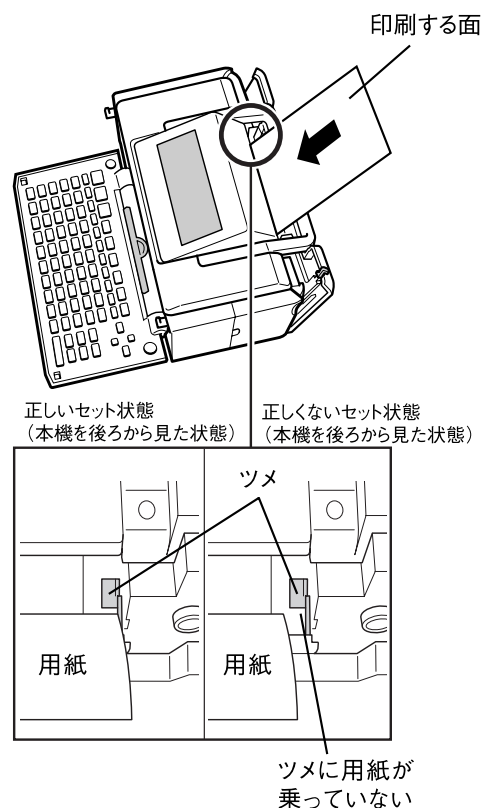
重 要
- 使用できる用紙は、用紙のサイズ、厚さおよび種類が上記の表の条件に合っているものだけです。
- コピー用紙などの薄い紙や、形状が不定形な用紙などは、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」(官製はがきに写真が貼り付けられているもの)の宛名面に印刷をする場合は、同梱の「写真付きポストカード専用セットシート」にセットして、必ず1枚ずつ印刷してください。詳細は、別紙の「写真付きポストカードに印刷する場合のご注意」をご覧ください。
- 印刷できる写真付きポストカードは、厚さが「0.18mm～0.38mm」のものです。

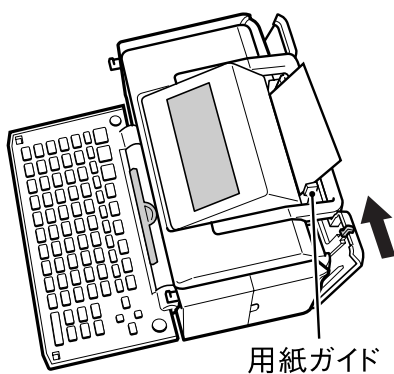
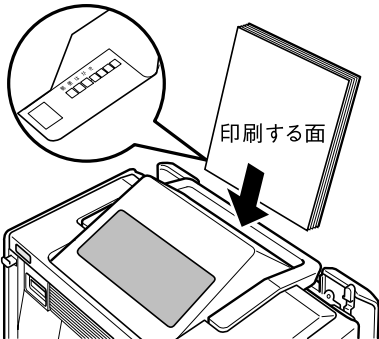
※ハガキに比べて、極端に厚い用紙や硬い用紙は、うまく印刷できないことがあります。

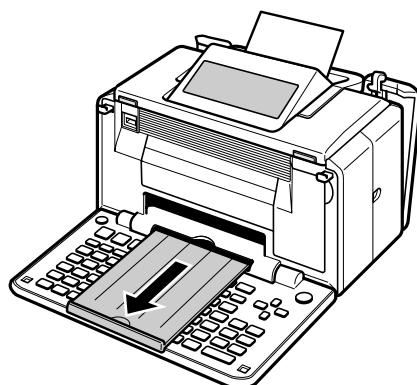
用紙をセットする

重要
- 用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- 用紙どうしが静電気ではりついているときは、間に空気を入れるなどしてからセットしてください。
- 印刷中に用紙を追加することはできません。
- 「インクジェット写真用年賀葉書」は、1枚ずつセットしてください。
- フォト光沢はがきは、印刷時に、用紙どうしが貼り付きやすい場合、1枚ずつセットしてください。
- 印刷途中に絶対に用紙を引き抜かないでください。
- 用紙に反り･曲がりがあると用紙がつまる原因となります。用紙の反り･曲がりを直してから本体にセットしてください。
- 用紙をセットする際は、印刷面を表側にして、必ず用紙の左端を挿入口の左端に沿わせてセットしてください。セット後は、必ず「用紙ガイド」を用紙に当たる位置まで動かしてください。

1 給紙トレイを開きます。

2 用紙ガイドを拡げます。

3 印刷面を表側にして、用紙の左端を挿入口の左端に沿わせ、軽く止まるまで差し込みます。

- 一度にセットできる枚数は、20枚までです（印刷枚数は99枚まで設定可能です）。

このとき、用紙の端がツメの下に入るようにセットしてください。
正しくセットしないと、用紙が曲がって挿入され、正しく印刷できないことがあります。

4 用紙ガイドが用紙に当たる位置までつまみをスライドさせます。

• 正しくセットしないと印刷の際に、用紙が斜めに給紙されたり故障の原因となります。

5 排紙トレイを引き出します。

●用紙をセットする向きについて

印刷の種類や用紙の種類によって、用紙をセットする方向や表裏を確認して、正しくセットしてください。

用紙の種類	印刷の種類	セット方向
はがき	宛名印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。 印刷する面
	文面印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。 印刷する面
A6	デジタル写真	印刷する面を表側に向けてセットする。
L判	デジタル写真	印刷する面を表側に向けてセットする。

※光沢紙に写真を印刷する場合は光沢面を表側に向けてセットしてください。

印刷するときの注意事項

印刷前

●本体は平らな場所に置いてください。

●用紙挿入口、本体内部に用紙が残っていないことを確認してから、用紙をセットしてください。

●用紙を用紙挿入口の奥まできちんと当たるようにセットしてください。

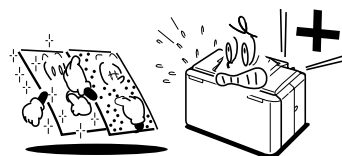
●用紙どうしが静電気の影響などではりついていると、用紙がきちんと送れないことがあります。用紙と用紙の間に空気を入れてからセットするか、1枚ずつ印刷してください。

●用紙に反り、曲がりがあると用紙がつまる原因となります。用紙の反り、曲がりを直してからセットしてください。

●用紙をセットする際は、印刷面を表側にして、必ず用紙の左端を挿入口の左端に沿わせてセットしてください。セット後は、必ず用紙ガイドを用紙に当たる位置まで動かしてください。

●印刷に適している用紙については、「使用できる用紙」(22ページ)の説明をご覧ください。

●次のようなはがきや用紙を使わないでください。

- 封筒
- 往復はがき
- 表面が凸凹やザラザラのもの
- 折れ曲がったり、反りの激しいもの
- 一般の官製はがきにくらべて、極端に厚い紙や薄い紙、腰の強い用紙
- 樹脂シートなどのインクを吸収しないもの
- 不定形に切断したコピー用紙・カレンダーなど指定以外の用紙

●用紙挿入口に一度にセットできる用紙は、官製はがきの厚さの場合で「20枚まで」です(印刷枚数は「99枚」まで設定可能です)。

●プリントカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

●用紙排出口にものがないことを確認してください。

●排紙トレイを引き出しておいてください。

●プリントカートリッジがセットされていないと印刷の動作は実行されません。

●フォト光沢はがきなどに両面印刷をする場合は、「宛名」→「写真印刷」の順番で印刷操作をしてください。

●フォト光沢はがきなどに両面印刷をすると、写真印刷面にスジ状のキズが付着する場合があります。

●「インクジェット写真用年賀葉書」は、1枚ずつセットしてください。複数枚セットすると正常に印刷できない場合があります。
※光沢でない「インクジェット紙年賀郵便はがき」では、20枚までセットできます。

●フォト光沢はがきは、印刷時に、用紙どうしが貼り付きやすい場合、1枚ずつセットしてください。

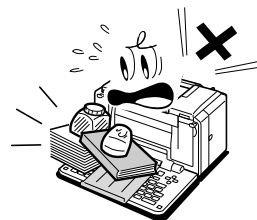
●写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」(官製はがきに写真が貼り付けられているもの)の宛名面に印刷をする場合は、同梱の「写真付きポストカード専用セットシート」にセットして、必ず1枚ずつ印刷してください。詳細は、別紙の「写真付きポストカードに印刷する場合のご注意」をご覧ください。

印刷中

●本体を傾けたり、振動を与えたりしないでください。
印刷不良の原因となります。

●印刷中に用紙をひっぱったり、押し込んだりしないでください。
印刷不良や故障の原因となります。

●用紙排出口をふさがないでください。
用紙がつまったり、故障の原因となります。

●印刷中は必ずキーボードを開き、排紙トレイを出した状態でお使いください。

●印刷中には用紙を追加することはできません。
印刷中に用紙を追加すると、用紙がつまったり、故障の原因になります。
用紙を追加するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙切れ」というメッセージが表示されたのを確認してから行ってください。

●21枚以上（官製はがきの厚さの場合）印刷するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙切れ」というメッセージが表示されたのを確認したあと、用紙をセットして印刷を行ってください。

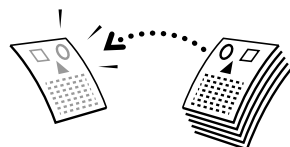
●印刷中は絶対に用紙挿入口及び用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。
指がローラー部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

●印刷途中に絶対に用紙を引き抜かないでください。

●本機のプリンターはインクジェット方式です。印刷を行っていると、プリントカートリッジ収納部周辺や製品本体にインクが付着する場合があります。インクが付着したときは、水を浸してかたく絞ったガーゼなどで拭き取ってください。

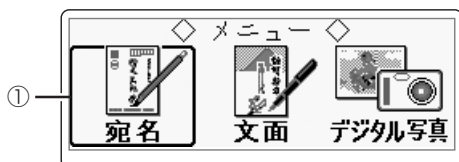
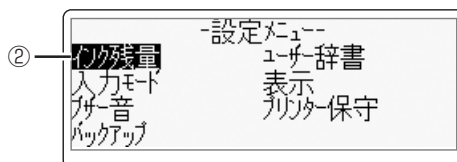
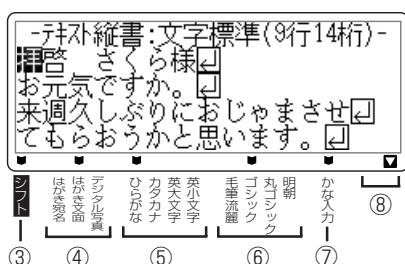
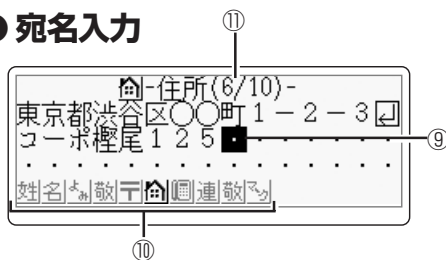
印刷後

●印刷したものをひっかいたり、こすり合わせたりしないでください。
キズや汚れの原因となります。

●印刷したものを重ねて放置したり、水にぬらしたり、ほかの紙にこすったりしないでください。印刷が写ってしまうことがあります。

●長時間使用しないときは、キーボード及び排紙トレイは閉めて保管してください。

画面の見かた

本機の画面にはいろいろな情報が表示されます。

● メニュー画面

● 設定画面

● 文字入力画面

● 宛名入力

①	機能やメニューをイラストで示しています。[∧][∨][<][>]を押し、イラストに太い枠を表示させることで、必要な機能を選ぶことができます。 ※文面の組み合わせ作成で使用するイラストも同じ操作で選びます。
②	現在選ばれている項目であることを示しています。[∧][∨][<][>]を押し、反転表示させることで、必要な項目を選ぶことができます。
③	[シフト 小文字]キーを押されたときに、■が点灯します。
④	現在選ばれている機能を示しています。
⑤	入力できる文字の種類を示しています。 ■が点灯している位置の種類が現在入力できる文字の種類です。
⑥	印刷時の書体(フォント)の種類を示しています。 ■が点灯している位置のフォントが印刷時のフォントです。
⑦	現在の文字の入力モードを示しています。 ■が点灯している　：かな入力 ■が点灯していない：ローマ字入力
⑧	画面のスクロールができることを示しています。 ▲：現在表示している画面よりも上に、表示できる画面がある。 ▼：現在表示している画面よりも下に、表示できる画面がある。
⑨	文字の入力状態や入力位置(カーソル位置)を示しています。 「■」点滅：現在の文字の入力位置になります。 「・」：文字入力ができますが、現在は文字が入力されていない状態です。
⑩	各入力項目を示しています。 現在の項目を黒で表示、その他の項目をグレーで表示します。
⑪	画面上の(6/10)は入力項目が10の画面に分割されているときに、現在6つ目の入力項目であることを示しています。　例：(2/10)→名、(10/10)→[マーク]

● カーソルのはたらきと動かしかた

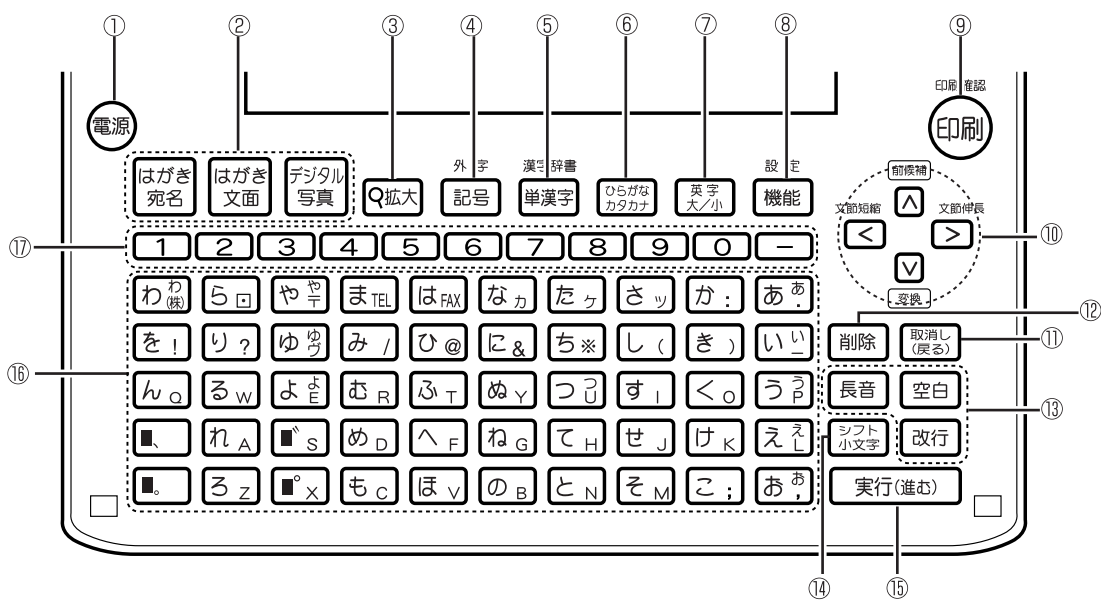
●文面や宛名面に文字を入れているときに、■が表示されます。これは位置を示した印で、カーソルと呼びます。カーソルが合っている位置で文字キーを押すと文字が入り、[削除]を押すと文字が消えます。

●カーソルは[∧][∨][<][>]を押して動かします。

[∧]	上にカーソルが移動する
[∨]	下にカーソルが移動する
[<]	左にカーソルが移動する
[>]	右にカーソルが移動する

●画面にかくれている文字を見るためには、[∧][∨][<][>]を押してかくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

キーボードと主なキーの働き

キーボードには、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では「キー」と呼んでいます。
ここでは主なキーの使いかたについて説明しています。

①	電源：電源を入れたり切ったりするときに押します。
②	モードキー（はがき宛名 はがき文面 デジタル写真）：それぞれの「機能」を使うときに押します。また、操作の途中で困ったときに押すとやり直すことができます。
③	拡大：入力した文字を大きく拡大して確認したいときに押します。
④	外字 記号：キーに印刷されていない記号を入れるときや、自分で文字を作ったり、作った文字を入れたりするときに押します。
⑤	漢字辞書 単漢字：1文字ずつ漢字を変換するときに押します。
⑥	ひらがな カタカナ：ひらがなやカタカナの入力に切り換えるときに押します。
⑦	英字 大/小：アルファベットの大文字や小文字の入力に切り換えるときに押します。
⑧	設定 機能：いろいろな設定をするときに押します。
⑨	印刷確認 印刷：印刷するときや印刷の仕上がり状態を確認するときに押します。
⑩	∧∨＜＞：文字が入る位置を示した■を動かすときに押します。また、項目などを選択するときにも押します。
⑪	取消し（戻る）：操作を取り消したり、中止するときに押します。
⑫	削除：文字を間違えたときに押します。
⑬	長音 空白 改行：文字入力のとき、「ー」、空白を入れたり、改行するときに押します。
⑭	シフト 小文字：キーの上にピンクの文字で書かれている機能や文字を入力するときに押します。
⑮	実行（進む）：操作を進めていくときに押します。
⑯	文字キー：文字を入れるときに押します。
⑰	数字キー：数字を入れるときに押します。

■キーのあらわしかたについて

例 れA を押したあとに続けて 実行（進む） を押すとき…➜ れA 実行（進む） と押します。

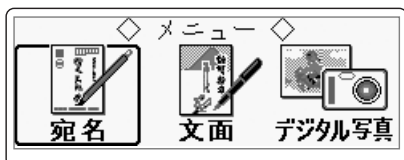
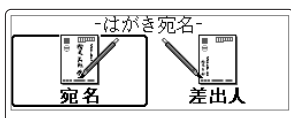
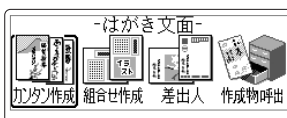
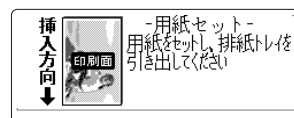
●キーの上にピンク色で書かれている機能を使うには…
シフト小文字 を押したあとに続けてピンク色で書かれている下のキーを押します。

例 「外字」の機能を使うとき…➜ シフト小文字 外字 記号 と押します。

●操作手順の中で、「∧∨＜＞を押して…」と書かれているときは、∧∨＜＞のいずれかを押してください。4つのキーすべてを押す必要はありません。

操作の進めかた

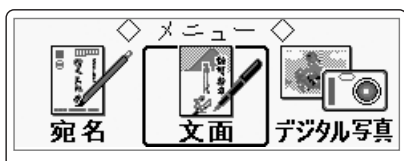
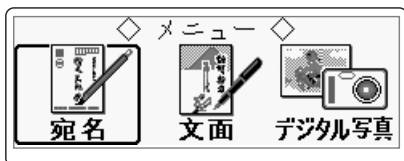
本機の操作を始めるには、まず電源を押します。電源を押すと、トップメニュー画面が表示されます。ここから、操作が始まります。

トップメニュー画面

操作キーを押すと各メニュー画面が表示されます。

1 **メニュー画面では、機能の内容やできることがイラストで表されています。これをアイコンと呼びます。あなたがしたいことを選んでください。**

どうやって選ぶの？

アイコンが太い枠で囲まれているのがわかりますか？

＜ ＞のいずれかを押すと、太い枠が動きます。あなたが選びたいアイコンに太い枠を合わせてください。

↓

2 **したいことのアイコンを選んだら、実行(進む)を押します。**

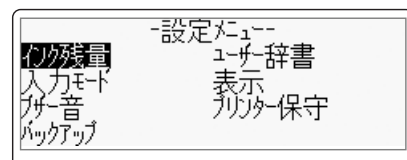
これで、あなたが選んだメニューにしたがって、操作が進みます。

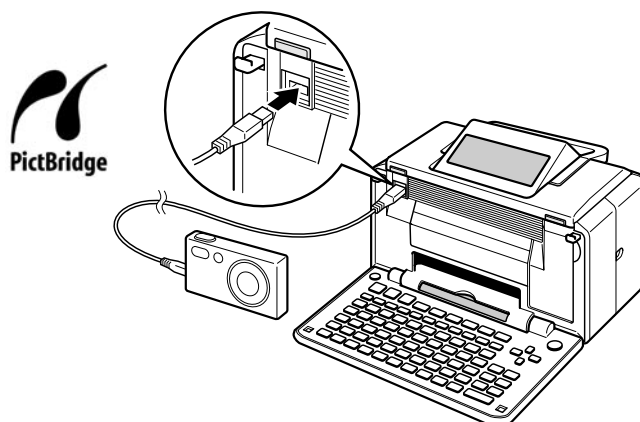
3 **操作を進めていくと、次々と選択画面が表示されます。**

選択を間違えてしまったり、前の画面に戻りたいときは、取消し(戻る)を押します。

選択画面について

∧∨＜＞を押して、あなたがしたい項目を反転表示させて選んでください。

画面によっては項目が太い枠で囲まれています。その場合はあなたがしたい項目に太い枠を合わせて選んでください。

印刷できる写真データについて

本機ではPictBridge(ピクトブリッジ)規格対応のデジタルカメラで撮影した写真を、本機に取り込んで印刷することができます。また、PictBridge機能を使うと、デジタルカメラの画面で写真を確認しながら印刷操作をすることができます。
※PictBridgeは、カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。

カシオデジタルカメラのPictBridge対応機種

EX-P505, EX-P600, EX-P700, EX-F1, EX-S10, EX-S100, EX-S500, EX-S600, EX-S770, EX-S880, EX-Z11, EX-Z30, EX-Z40, EX-Z50, EX-Z55, EX-Z57, EX-Z60, EX-Z70, EX-Z75, EX-Z77, EX-Z80, EX-Z100, EX-Z110, EX-Z200, EX-Z500, EX-Z600, EX-Z700, EX-Z750, EX-Z850, EX-Z1000, EX-Z1050, EX-Z1080, EX-Z1200, EX-V7, EX-V8, QV-R61

(2008年3月現在)

扱える写真のデータ

本機で印刷できる画像はデジタルカメラなどで撮影した画像で以下の条件を満たすものです。ご使用になる機能によって印刷できる写真のサイズが異なりますのでご注意ください。

●DCF Exif2.1(JPEG準拠)
※PictBridge対応デジタルカメラで撮影した画像(文面の写真はファイルサイズが3M Byte以下のもの)

重要 文面で印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

DCF規格対応の携帯電話でも、撮影時の操作方法によってはDCF規格とは異なるフォルダー構成下に写真データが保存される場合があります。このような写真は本機では印刷することはできません。
撮影した画像がDCF規格に準拠した形式でメモリー内に保存されるように操作してください。
詳しくはご使用になる携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

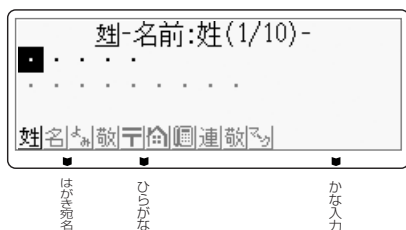
第 2 章

文字の入力

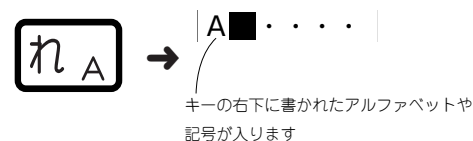
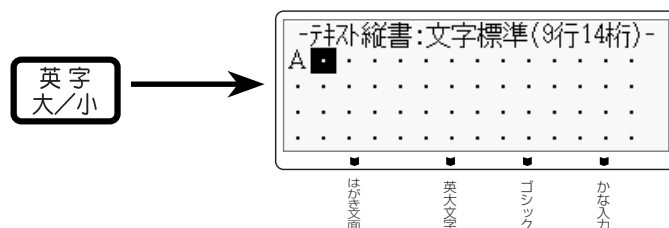
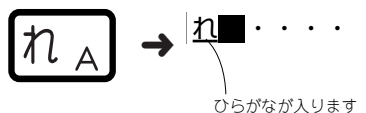
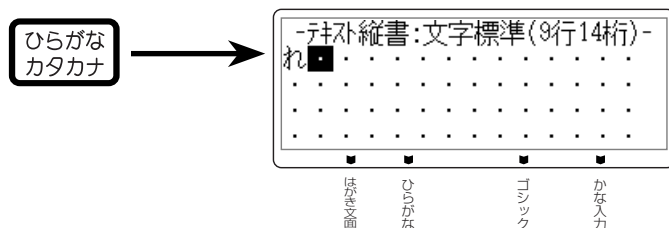
文字入力の前に知っておいていただきたいこと

文字の入れかたの要点を簡単に紹介します。詳しい操作を知りたいときは、参照ページをご覧ください。

文字を入れる画面は…

例 宛名作成画面(▶▶62ページ)

文章編集画面(▶▶121ページ)

文字キーの使いかた

1つのキーには複数の文字が書かれています。
ひらがな/カタカナ 英字大/小 を押して、どの文字を入れるのかを選びます。

入力する文字の種類の切り替えかた(▶▶38ページ～50ページ)

画面下部の「▼」は、選択されている機能、入力できる文字の種類、入力モードなどを示します。

ひらがな入力

「きく」を入れます

▼

ひらがな/カタカナ を何回か押して、「ひらがな入力」にする。

「「ひらがな入力」に設定しました！」と表示されます。

画面下の「ひらがな」に「▼」が合います。

▼

▼

カタカナ入力

「キク」を入れます

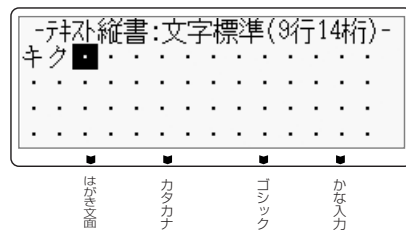
▼

ひらがな/カタカナ を何回か押して、「カタカナ入力」にする。

「「カタカナ入力」に設定しました！」と表示されます。

画面下の「カタカナ」に「▼」が合います。

▼

▼

漢字入力

「菊」を入れます

▼

ひらがな/カタカナ を何回か押して、「ひらがな入力」にする。

「「ひらがな入力」に設定しました！」と表示されます。

画面下の「ひらがな」に「▼」が合います。

▼

▼

アルファベット入力

「Sun」を入れます

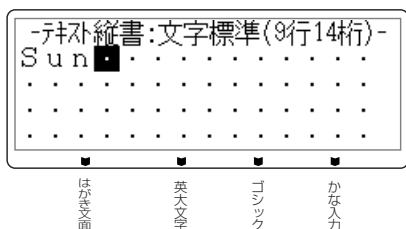
▼

英字 大/小 を何回か押して、「英大文字入力」にする。

「「英大文字入力」に設定しました！」と表示されます。

画面下の「英大文字」に「▼」が合います。

▼

▼

●数字を入れるときは、数字キーを押します。数字は、どの状態でも入れることができます。

ひらがな・カタカナを入れる

ひらがな・カタカナの入れかたを説明します。
※[長音](ー)と[－](ハイフン)を間違えないように、注意してください。

ひらがなを入れる

例 さくら

1 [ひらがな/カタカナ]を何回か押して、「ひらがな入力」にする。

「「ひらがな入力」に設定しました！」と表示されます。
画面下の「ひらがな」に「▼」が合います。

■をカーソルといいます。文字が入る位置を示します。

2 [さ][く][ら]と押します。

ローマ字入力のときは、
[゛S][れA][けK][つU][むR][れA]と押します。
「文字の入力方法（入力モード）を切り替える」
▶▶ 146ページ

ローマ字入力のときは、「かな入力」に「▼」が表示されません。

3 [実行(進む)]を押します。

キーを押し間違えてしまったら…

- **文字を間違えていたら**…51ページ「間違えた文字を直す」
- **文字が抜けていたら**…52ページ「文字の抜けているところに文字を追加する」
- **文字を消したいときは**…51ページ「間違えた文字を消す」

画面に同じ文字がいくつも表示されたときは

キーを長く押し続けていると、その文字が連続して表示されます。そのときは[取消し(戻る)]を押します。文字が画面から消えます。
キーは、ポンッと軽くたたくように、押してください。

重要 [取消し(戻る)]を押して消すことができるのは、文字に下線がついているときだけです。
数字キーを押し続けたときや、文字を確定したあとは、消したい部分にカーソルを合わせて[削除]を押します。

カタカナを入れる

例 サクラ

1 [ひらがな/カタカナ]を何回か押して、「カタカナ入力」にする。

「「カタカナ入力」に設定しました！」と表示されます。
画面下の「カタカナ」に「■」が合います。

2 [さ][く][ら]と押します。

ローマ字入力のときは、
[S][A][K][U][R][A]と押します。
カタカナはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

ローマ字入力のときは、「かな入力」に「■」が表示されません。

「ぱ」や「ゃ」などを入れる

キーの上に印刷されていない文字を入力するときは、このページの表を見て入力してください。
ローマ字入力のときの文字の入れかたは、165ページの「ローマ字入力対応表」をご参照ください。

文字の例	呼び名	かな入力のとき	ローマ字入力のとき
は	清音	[は FAX]	[て H][れ A]
ば	濁音	[は FAX][゛ S]	[の B][れ A]
ぱ	半濁音	[は FAX][゜ X]	[う P][れ A]
ゃ	拗音	[シフト 小文字][や]	[゜ X][ぬ Y][れ A]
っ	促音	[シフト 小文字][つ]	[゜ X][ふ T][つ U]
。	句点	[。]	[。]
、	読点	[、]	[、]

小文字や「々」「ヾ」、「ゐ」「ゑ」などの旧仮名遣いの文字などは、[外字 記号]を押して「入れにくい字」を選択し、そこから入れることができます(▶▶ 49ページ)。

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「読み」をひらがなで入れます。例えば、「花」は「はな」と入れます。ひらがなから漢字に変えることを「変換」といいます。使いたい漢字が表示されたら、［実行(進む)］を押して、ほかの漢字に変わらないように確定します。
目的の漢字に変換できないときは、一文字ずつ漢字を入力します。
「目的の漢字に変換されないとき」 ▶▶43〜47ページ

漢字を入れる

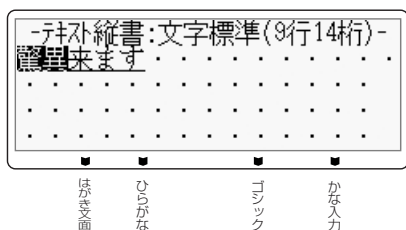
例 今日行きます

1 「きょういきます」とひらがなで入れます。

2 ［V 変換］を押します。

「きょうい」と「きます」という2つの言葉と認識したため、「驚異」と変換されます。
「**驚異**」が反転します。

※1つ目の文節が目的の漢字に正しく変換されているときは、［>］を押して正しく変換されていない文節に反転を移動してください。最後の文節まで目的の漢字に正しく変換されているときは、［>］を押して最後の文節に反転を移動して［実行(進む)］を押してください。漢字が確定します。

3 ［シフト 小文字］［<］と押します。
「きょうい」を「きょう」という言葉に区切るためです。
「きょう」が「今日」に変換されました。

4 ［実行(進む)］を押します。
「今日」が確定されます。
「いきます」という言葉が残ったと認識したため、「生きます」に変換されました。

5 [V 変換]を何回か押して、「行きます」にします。

[V 変換]を押すたびに、「いきます」の候補が次々に表示されます。

6 「行きます」になったら、[実行(進む)]を押します。

「行きます」が確定されます。

同じ読みのある漢字(同音異義語)を選ぶ

複数の漢字が当てはまる「読み」(同音異義語)を選ぶ方法を説明します。

例 **講演**

1 「こうえん」とひらがなで入れます。

2 [V 変換]を押します。

「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

3 [V 変換]を何回か押して、「講演」にします。

[V 変換]を押すたびに、「こうえん」に合った漢字が次々と表示されます。

4 「講演」になったら、[実行(進む)]を押します。

「講演」が確定されます。

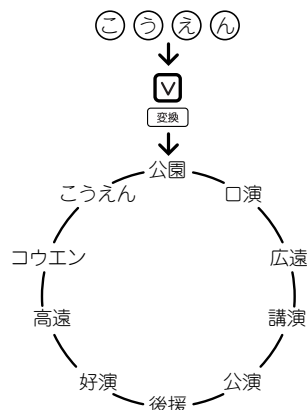
学習機能について

「こうえん」という読みを「講演」で確定したとします。次回「こうえん」という読みで変換すると、「講演」が一番はじめに表示されます。これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。
このように、前回使った漢字を最初に表示することを学習機能といいます。

ひらがなを漢字にするルール

「よみ」を入れる　漢字に変える　確定する

こうえん 後援 実行(進む) → 後援

さらに[変換]を押すと、「こうえん」に当てはまるほかの候補が表示されます。[前候補]を押すと、前に表示されていた候補の文字が表示されます。

変換中に文字を間違えたら…

変換中に文字の間違いに気がついたら、[取消し(戻る)]を押してください。

甲斐 かい ■

変換前の「よみ」の状態に戻る
文字を訂正することができます

入力した「よみ」が消える
はじめから、入力し直すことができます

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゆう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している

かなで入れた文章を漢字に変換するときのポイント

例 栄町

①「さかえちょう」とひらがなで入れます。

さかえちょう■・

②[変換]を押します。

栄町・・・・・・・

③最後の文節まで目的の漢字に正しく変換されたときは、[＞]を押して最後の文節に反転を移動してください。
ここでは[＞]を1回押します。

栄町・・・・・・・

④[実行(進む)]を押して漢字を確定します。

栄町■・・・・・

目的の漢字に変換されないとき①（単漢字変換）

むずかしい漢字や珍しい固有名詞などは、∨（変換）を押しても正しく変換されません。このような場合、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

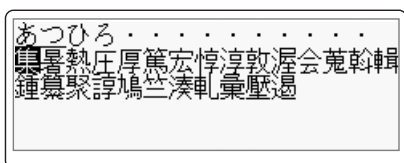
例 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入れます。

2 ∨（変換）を何回か押します。

何回押しても、「敦」に変換されません。

3 単漢字（漢字辞書）を押します。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます。

4 ∧∨<>を何回か押して、目的の漢字を選び、実行（進む）を押します。

「敦」が確定されます。

5 手順3から4と同様の操作をして目的の漢字（廣）を選び、実行（進む）を押します。

目的の漢字に変換されないとき②（漢字辞書）

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。
漢字の呼び出しかたは、4種類あります。

- 「読み」　　　読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数」　　総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首」　　　部首から該当する漢字を呼び出します。
- 「区点コード」　漢字の一覧表から入力したい文字を見つける（JIS区点コード）。

漢字辞書機能は文字が入力できる画面および文面、宛名（「読み」および「郵便番号」入力時を除く）の各入力画面から入ることができます。ただし、文字が未確定のときや、漢字に変換している途中では漢字辞書は使えません。

読みから呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[シフト 小文字][漢字辞書 単漢字]を押します。

2 [∧][∨][<][>]で「読み」を選び、[実行(進む)]を押します。

3 「あげる」と入れて、[実行(進む)]を押します。

「あげる」と読む漢字の一覧が表示されます。
データに続きがあるときは[∧][∨]を押すと続きを見ることができます。

- 最大7文字まで入力できます。

読み：あげる
挙抗称上騰揚擧舉

4 [∧][∨][<][>]を押して挙にし、[実行(進む)]を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 [実行(進む)]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

総画数から呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 **入力したい位置にカーソルを合わせて、［シフト 小文字］［単漢字（漢字辞書）］を押します。**

2 **［∧］［∨］［＜］［＞］で「総画数」を選び、［実行(進む)］を押します。**

3 **［1］［0］と入れて、［実行(進む)］を押します。**

［＜］または［＞］で画数を指定することもできます。

10画の漢字の一覧が表示されます。

総画数：10
乘亳倉俺倶倹個候倖借修値倒俳倍
俵倣俸倫倭倚倨倔倪倥倅假倡倩倬
俾俯們倆倂兌兼兼冓冥冤冦冢准凄
凋凍凌凅凉剣剛剤剥剖剞剔勉勍匪

4 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して挙にし、［実行(進む)］を押します。**

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 **［実行(進む)］を押します。**

「挙」という漢字が入ります。

部首から呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 **入力したい位置にカーソルを合わせて、[シフト 小文字][漢字辞書 単漢字]を押します。**

2 **[∧][∨][＜][＞]で「部首」を選び、[実行(進む)]を押します。**

-部首画数検索-
部首画数　　０１
※部首画数を入力してください

3 **「挙」の部首の「手」は4画なので[0][4]と押し、[実行(進む)]を押します。**

4画の部首の一覧が表示されます。
[＜]または[＞]で部首の画数を指定することもできます。

＜０４画の部首＞
心戈戸手支攴文斗斤方无日曰月木
欠止歹殳毋比毛氏气水火灬爪父爻
爿片牛犬王ネ耂辶冖

部首の候補が他にもあるときは[∧][∨]を押すと続きを見ることができます。

4 **[∧][∨][＜][＞]を押して手にし、[実行(進む)]を押します。**

「手」が部首の漢字の一覧が表示されます。

部首：手
扌手扎打払扨托扞扣扛扠扨技抗抄
折択投把抜批扶扮抑扼抂抉找抒抓
抖抃抔抛押拐拡拒拠拘承招拙拓担
抽抵拝拍披抱抹拔拗拑抻拆拈拌拊

5 **[∧][∨][＜][＞]を押して挙にし、[実行(進む)]を押します。**

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

6 **[実行(進む)]を押します。**

「挙」という漢字が入ります。

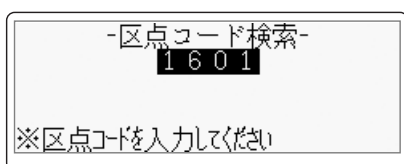
部首がわかりにくい漢字については本来の部首以外でも呼び出せるものがあります。
（例：「岩」は「山」でも「石」でも呼び出せます。）

漢字の一覧表から入力したい文字を見つける（JIS区点コード）

ワープロやパソコンなどのコンピューター機器は、漢字を番号で管理しています。番号は「区」と「点」に分かれていて、漢字1つに対して4つの数字が割り当てられています。コード番号はJIS規格で定められており、これをJIS区点コードといいます。

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[シフト 小文字][漢字辞書 単漢字]を押します。

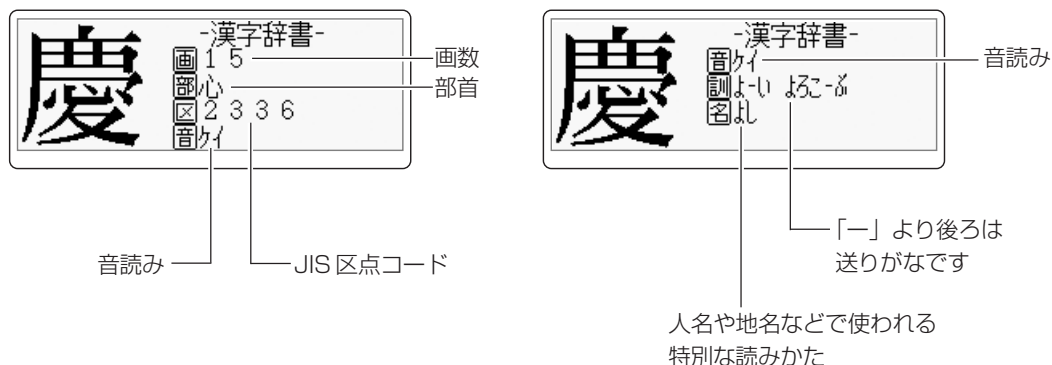
2 [∧][∨][<][>]で「区点コード」を選び、[実行(進む)]を押します。

3 「挙」の区点コードは「２１８３」なので[2][1][8][3]と押し、[実行(進む)]を押します。
「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

「内蔵漢字一覧」
▶▶ 168ページ

4 [実行(進む)]を押します。
「挙」という漢字が入ります。

- 読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読みかた」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- JIS外の漢字の区点コードは「－－－－」と表示されます。
- JIS規格には収録されていても、多くの辞書で読みも意味も不明として取り扱われている漢字は「音義未詳」と表示されます。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能（41ページ）ははたらきません。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや色などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの（米：メートル、弗：ドルなど）は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

● 漢字辞書詳細表示について

呼び出した漢字については、次のような詳細な情報が表示されます。

この画面では[∧][∨]を押して、表示を切り替えることができます。

アルファベットを入れる

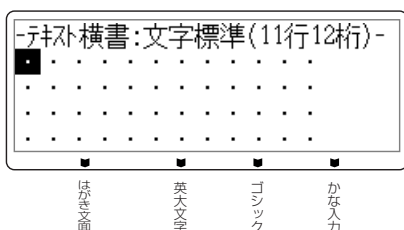
アルファベット入力の方法は、かな入力・ローマ字入力どちらでも操作は同じです。

アルファベットの大文字を入れる

例 AKI

1 [英字 大/小]を何回か押して、「英大文字入力」にする。

「「英大文字入力」に設定しました！」と表示されます。
画面下の「英大文字」に「■」が合います。

2 [れA][けK][すI]と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

アルファベットの小文字を入れる

例 aki

1 [英字 大/小]を何回か押して、「英小文字入力」にする。

「「英小文字入力」に設定しました！」と表示されます。
画面下の「英小文字」に「■」が合います。

2 [れA][けK][すI]と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。

大文字と小文字の入力を切り替えるには

画面下部の「英大文字」に「■」が表示されているときに[シフト 小文字]を押すと、小文字が入力できます。また、画面下部の「英小文字」に「■」と表示されているときに[シフト 小文字]を押すと大文字が入力できます。

,（カンマ） .（ピリオド）を入れるには

画面下部の「英大文字」または「英小文字」に「■」が合っているときに、次のキーを押します。

カンマ：[お ぉ ,]　　ピリオド：[あ ぁ .]

記号や入力しにくい文字(〿、ヴなど)を入れる

普通の文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号を入れる

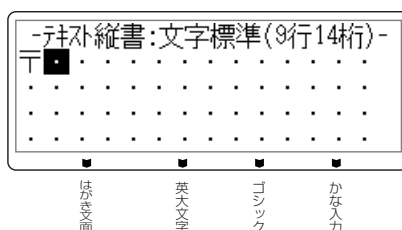
普通の文字のほかに、キーに印刷されているいろいろな記号を入れることができます。記号を入れるときは、アルファベットが入る状態にしてから入れます。

例 〒

1 英字 大/小 を押して、「英大文字入力」または、「英小文字入力」にする。

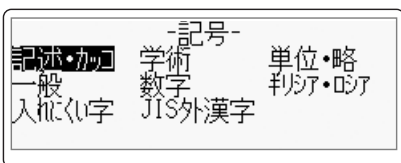
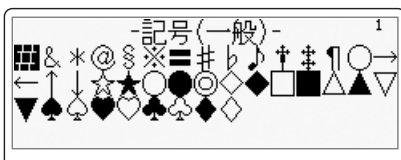
画面下の「英大文字」または、「英小文字」に「▼」が合います。

ローマ字入力になっているときは、この操作は行う必要はありません。

2 や 〒 を押します。

キーに印刷されていない記号や入力しにくい文字(ゑ、ヴなど)を入れる

記号は、8つのグループに分かれています。162ページの「記号一覧」を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているかを確かめてください。

例 ★(グループ：一般)

1 [外字 記号]を押します。

2 [∧][∨][<][>]で「一般」を選び、[実行(進む)]を押します。

3 [∧][∨][<][>]を何回か押して「★」を探します。

4 [実行(進む)]を押します。

文字を間違えたときは

文字を間違えて入れたときの直しかたを説明します。

間違えた文字を直す

文字を直すときは、間違った文字を消してから、そのまま正しい文字を入れます。

例 「ゆきこ」を「ゆうこ」に直す

1 **[<][>]を何回か押して、直す文字にカーソルを合わせます。**

2 **[削除]を押します。**

「き」が削除され、「こ」がつまります。

3 **正しい文字を入れ、[実行(進む)]を押します。**

「う」が「こ」の前に入ります。
すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。

間違えた文字を消す

文字を1文字ずつ消すときの方法を説明します。

例 「ひっここし」の「こ」を消して「ひっこし」に直す

1 **[<][>]を何回か押して、消したい文字にカーソルを合わせます。**

2 **[削除]を押します。**

「ひっこし」になります。続けて文字を入れるときは、文章の終わりまでカーソルを移動させます。

文字の抜けているところに文字を追加する

例 「あた」を「あきた」にする

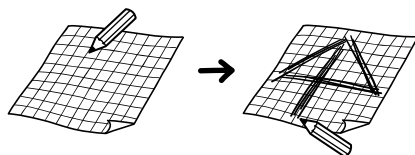
1 **[<][>]を押して、追加するところにカーソルを合わせます。**

2 **文字を入力して、[実行(進む)]を押します。**
すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。

自分で文字を作る(外字)

↗ や1などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます。自分で作った文字を外字といいます。
外字は5つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。

● 外字はこうやって作ります

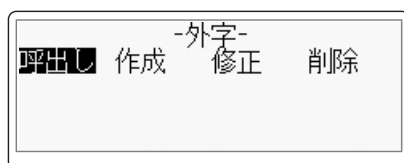
本機の文字・記号などはすべて点(ドット)の集まりです。点を1つ1つ塗りつぶしたり、消したりすることにより、自由自在に文字を作ります。

外字を作る方法として次の2つがあります。どんな外字を作るのかによって方法を選びましょう。

●はじめから自分で作る(**新規作成**)
…はじめから新しい文字を作るとき。

●本機の中にある文字を利用して作る(**参照作成**)
…「⟷」や「⊘」のように、既存の文字が利用できるときは、この方法が便利です。

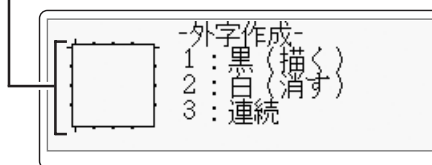
はじめから自分で作る(新規作成)

例 1

1 文字にカーソルが合っていない状態で、[シフト 小文字][記号(外字)]と押します。

2 [<][>]で、「作成」を選び、[実行(進む)]を押します。

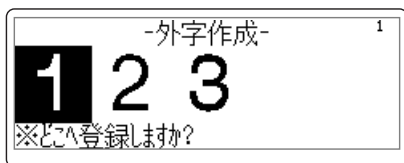
外字作成画面が表示されます。

カーソル…
点滅している「・」のことです。

スケール…
現在カーソルがどこにあるのかを示します。
カーソルの動きに合わせて動きます。

外字作成画面

3 外字作成画面で外字を作成します。

カーソルを移動させるときは	[∧][∨][<][>]を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、[1]「黒(描く)」を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶした点までカーソルを移動し、[2]「白(消す)」を押します。
線を描くときは	[1]「黒(描く)」→[3]「連続」と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	[2]「白(消す)」→[3]「連続」と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

4 外字が完成したら、[実行(進む)]を押します。

5 [<][>]を押して、作った外字を登録する場所を選びます。

重要 すでに外字が登録されている場所を選んで[実行(進む)]を押すと、上書きの確認メッセージが表示されます。

6 [実行(進む)]を押します。

登録のメッセージが表示され元の画面に戻ります。

- 外字作成画面で[1]「黒(描く)」または[2]「白(消す)」のどちらかが指定されているときは、[3]「連続」を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。
- 斜め方向に連続してドットを塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1ドットずつ行ってください。

本機にある文字を利用して作る（参照作成）

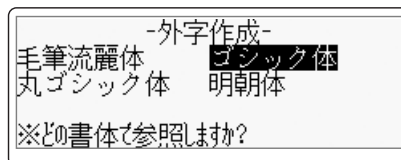
例 本機の文字「1」を利用して、1を作る

1 文字を入力できる画面で、1を押します。

2 ＜＞を押して、「1」にカーソルを合わせます。

3 シフト小文字 記号（外字）と押します。

4 ＜＞で「作成」を選び、実行(進む)を押します。

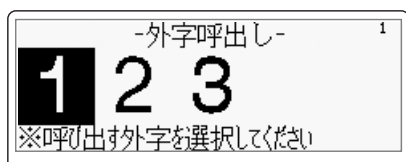
5 ＜＞で「参照作成」を選び、実行(進む)を押します。

6 ∧∨＜＞で書体を選び、実行(進む)を押します。

7 54ページの手順3からの操作を行い、外字を作成し登録します。

自分で作った文字を使う

1 文字が入力できる画面で外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 シフト小文字 記号（外字）と押します。

3 ＜＞で「呼出し」を選び、実行(進む)を押します。

4 ＜＞で、呼び出す外字を選び、実行(進む)を押します。

呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

「間違えた文字を消す」
▶▶ 51ページ

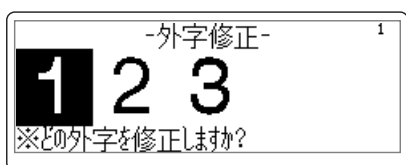
自分で作った文字を修正する

例 ↗ → ⤢

1 文字が入力できる画面で［シフト小文字］［記号（外字）］と押します。

2 ［<］［>］で「修正」を選び、［実行（進む）］を押します。

3 ［<］［>］で、修正する外字を選び、［実行（進む）］を押します。

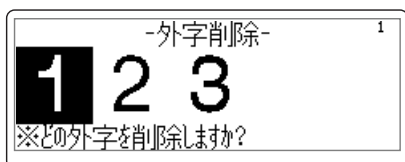
4 54ページの手順**3**からの操作を行い、外字を修正し、登録します。

自分で作った文字を削除する

外字を文章の中に入れていたときに、その登録した外字を削除すると、文章の中の外字は空白で印刷されます。

1 文字が入力できる画面で［シフト小文字］［記号（外字）］と押します。

2 ［<］［>］で「削除」を選び、［実行（進む）］を押します。

3 ［<］［>］で、削除する外字を選び、［実行（進む）］を押します。

4 ［実行（進む）］を押します。

文字を修飾する

本機は、文面の「見出し」(▶▶118ページ)と「テキスト」(▶▶121ページ)で書体(フォント)や文字の形を指定したり、色を変えることができます。

文字の書体を変える(フォント)

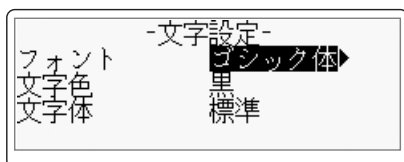
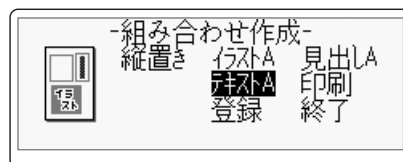
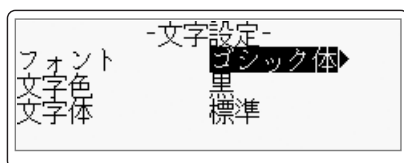
文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

ゴシック

丸ゴシック

明朝

毛筆流麗

1 テキスト入力画面で文字を入れてから、[実行(進む)]を押します。

2 [∧][∨]で「フォント」を選びます。

3 [<][>]で、書体を選び、[実行(進む)]を押します。

テキスト入力画面に入ると指定した書体の名称に「■」が表示されます(印刷すると指定した書体で印刷されます)。

重要 毛筆流麗体は他のフォントに比べて文字が小さくデザインされています。文面のテキストに利用する場合はご注意ください。

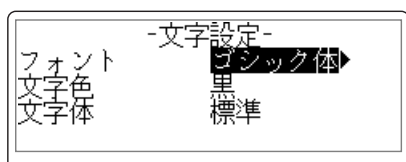
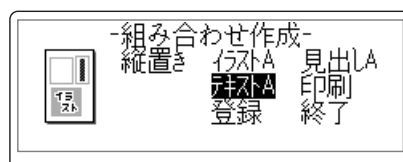
※「外字」(53ページ)で作成した文字に、書体を指定することはできません。

文字の色を変える(文字色)

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

●指定できる色

黒　赤　緑　青　桃色　空色　灰色

1 テキスト入力画面で文字を入れてから、[実行(進む)]を押します。

2 [∧][∨]で「文字色」を選びます。

3 [<][>]で色を選び、[実行(進む)]を押します。

文字の形を変える（文字体）

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

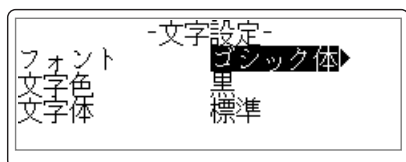
標準

白抜き

影付

立体

太文字

1 テキスト入力画面で文字を入れてから、[実行(進む)]を押します。

2 [∧][∨]で「文字体」を選びます。

3 [＜][＞]で文字の形を選び、[実行(進む)]を押します。

- 文字体を指定した文字を標準の文字に戻すときは、手順3で「標準」を選びます。
- 「テキスト」に文字体を指定すると、文字によってはきれいに印刷されないことがあります。はがきなどに印刷する前に、必ず試し印刷を行って、仕上がりを確認してください。

※「毛筆流麗体」（57ページ）と「外字」（53ページ）で作成した文字に、文字体を指定することはできません。

文字を大きくして確認する（拡大表示）

文字入力画面で、入力している文字を大きく表示します。画数の多い漢字の細かい部分なども確認することができます。漢字辞書や単漢字変換の漢字候補中に使うと便利です。

1 [∧][∨][＜][＞]で確認したい文字にカーソルを合わせます。

2 [Q拡大]を押します。

手順1で選んだ文字が拡大されます。

このとき[∧][∨]を押すと、表示フォントを変えて確認することができます。
表示フォントは「毛筆流麗体」「ゴシック体」「丸ゴシック体」「明朝体」の4種類です。

元の画面に戻るには、[実行(進む)]、または[取消し(戻る)]を押します。

重要

- 次の文字は文字入力画面で拡大表示できません。
  - 確定されていない文字
  - 改行マーク
  - 漢字辞書機能の部首
  - 外字
- 宛名･差出人データ、文面テキスト入力中、ユーザー辞書データの追加･修正中は拡大表示が８０ドットになります。宛名表示、宛名内容表示、差出人内容表示、宛名該当データ（検索時）、宛名該当データ内容表示（検索時）中は拡大表示が24ドットになります。
- 文字入力画面で拡大表示中にフォントを変えても、文字入力画面でのフォントは変わりません。